開催結果報告

令和７年11月９日(日) 歴彩館

公益財団法人
河川財団による
河川基金の助成
を受けています。

主催/近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会
共催/近畿「子どもの水辺」交流協議会、きょうと生物多様性センター
協力/京都賀茂川漁業協同組合、少年の水族館 Outdoor Aquarium、
京の川の恵みを活かす会、㈱共立理化学研究所、琴引浜の鳴り砂を守る会

および、この事業は(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構「琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成」を受けて実施しています。

2025 年 11 月 9 日(日)、本来では秋空の下、鴨川に多くの小中学生の元気な声が響く予定でしたが、あいにくの雨のお天気で、京都学・歴彩館に集まりました。
近畿 2 府 3 県から集まった 14 団体 103 名の小中学生と引率の方々をはじめ、18 名の高校生・大学生スタッフの皆さん、水辺に関わる多方面からの講師の方々、その他多くの関係者の皆さんのお陰で、歴彩館の中は一日中水辺の明るい空間となり、様々な交流が繰り広げられました。

目的

近畿「子どもの水辺」交流会は、子どもたちの「水辺」への関心の向上、水辺活動の継続・広がりを推進する取組を進め、共につくり、守り、育てる「水辺づくり」に寄与することを目的としています。

京都開催のテーマ

”　つながり　”

「参加者同士のつながり」
「流域でのつながり」
「世代を超えたつながり」
「そして、将来へつながるために、、、、」

開催日　令和 7 年 11 月 9 日(日)　9：50～16：10
場　所　京都府立京都学・歴彩館（京都市左京区）※雨天時プログラムで実施

プログラム概要

午前　開会式　　参加者紹介　　体験プログラム１、２
お昼　体験プログラム３　　行政情報紹介
午後　参加者活動発表会　グループ別交流会　学生の活動紹介　全体交流会
「川はだれのもの」合唱　　次回開催県挨拶　　閉会式

開会式

実行委員長挨拶
美濃原　弥恵

開会宣言
京都委員　中辻　英克

参加者紹介 ♥

体験プログラム１、２

今回、将来の水辺の活動の参考のため、水辺のお仕事や活動の体験です。深く知ってもらうため、プログラムの時間を長く設け、4つの中から2つを体験していただきました。

「鴨川漁師体験」　講師　京都賀茂川漁業協同組合

仕事の内容、魅力、苦労話などの体験のお話し

“投網が開くかな？　長～いアユ竿を持ってみよう！”

投網体験ではなるべく大きく広げるために力強く投げたけどあまり開かなくてできる人はすごいと思いました。

プロの技!!
魚の気持ちになってみました
良い子のみなさんは
マネしないでね

「水槽づくり体験」

講師　少年の水族館 Outdoor Aquarium

幼少期の体験、YouTuberのお仕事の紹介

目の前で、水槽を立ち上げながら撮影、編集、機材の説明

水槽を自分で作ってみたかったです。

サインもらっちゃった⤴

「水質調査体験」　講師　(株)共立理化学研究所

“良い水と悪い水とは？”

鴨川の水、ミネラルウォーター、食器洗いに使った水を使って良い水と悪い水を調べます（pH、アンモニウムの測定）

水質調査はすごく楽しかった！

川の水は魚が住んでいるから、きれいなんじゃない!?

台所の水は、臭～い！アンモニウムが高いのはなぜ？

オリジナル♥クリアファイルを🎁！

大変興味深く、子供達だけじゃなく、保護者の私も前のめりで楽しませていただきました。

「鳴き砂体験」　講師　琴引浜の鳴り砂を守る会

琴引き浜の紹介、鳴き砂の原理、鳴き砂体験

鳴く砂、鳴かなくなる砂、砂の音階、微小貝を観察！

上手く鳴らなかった、残念！

体験プログラム３

「川魚料理の試食」　講師　京の川の恵みを活かす会

京都市都心部における天然湖上のアユ釣りの復活や、鴨川をはじめとする京の川で育ったアユ、ハエ、ゴリ等の川床料理等での利用拡大を目指されています。ゴリ（ヨシノボリ）料理中心に試食して水辺の恵みを感じていただきました。

今回、参加者分の京都産のゴリの調達が難しく、同じ淀川水系の琵琶湖産が使用されました。

※ゴリの中に小エビが混じることがあり、エビアレルギーの方の対応もしていただきました。

川魚が大変おいしかった。おにぎりを持ってきていてよかったです。

初めて食べる料理ですがおいしかったです。

先生のゴリの煮物を今回いただけるなんて思いもしなくて、すごくうれしかったです。

学生の活動紹介

立命館高校による活動発表

①『汽水環境でのアクアポニックスの可能性』

②『サンショウウオの上陸条件を推測する』

アクアポニックスって？私もこんな実験やってみたい

サンショウウオの活動発表した子どもたちは興味津々!!

NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）による活動発表

『水辺の侵略者!?オオバナミズキンバイを調査せよ！』

オオバナカードゲットだぜ!

お兄さん、お姉さんの活動って凄いなあ～

行政情報紹介

京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良の行政活動をステージまたはパネルで紹介していただきました。

「川はだれのもの」 合唱　　唄 ぽぽっぽくらぶ

過去の「子どもの水辺」交流会でも発表されていました先輩の透き通った歌声と一緒に合唱しました。

←晴れの時の体験学習の会場でした鴨川北大路橋の上流

矢放七海さん作の広報図案→今年は京都の川の生き物と子どもたちの川での躍動感をイメージして描いていただきました。

参加者 活動 発表

あおむしくらぶ 滋賀県

『これからの十禅寺川のために今僕らができること』
“十禅寺川いきもの調査隊”の活動を通しての環境保護を伝えてくれました。

生きもの調査隊 京都府

『鴨川の生き物を調べてみた』
鴨川の生き物調査と採れた生き物を調理して食べた報告です！
お味の感想は？

京都市立開睛小中学校 京都府 A, B チーム参加

『白川の自然』
夏休み明けに校区を流れる白川の生き物調査を実施。そこで知ったことやこれまでの探究学習と絡めながら、みなさんの考えを伝えてくれました。発表後、思わずハイタッチと笑みが！(^^) ✋

NPO 法人蒲生野考現倶楽部 蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊 滋賀県

『琵琶湖にそそぐ日野川たんけん水の命の宝物探し』
日野川の上流から下流までの探検の数々を紹介！
イワトコナマズの幼魚との出会いも。

ガールスカウト大阪府第 21 団　**大阪府**

『糸田川と石田川の水質検査結果と水生生物・川辺の植物』

二つの川を比較して、見つけた水質CODと生き物や植物の関係とは？

いろんなチームがしていることが知れました。

木津川川ガキ団　**京都府**

『木津川川ガキ団「みんなで作る木津川イチ推し図鑑」その3』

ユニークなパネルがズラリ並びました。タウナギ、サギなど、木津川で見つけたメンバーのイチ推しの生き物のプレゼンです。

サウスヒルワイルドアニマルズ　**大阪府**

『日本のサンショウウオ』

四年生で初めて同じクラスになった、いきもの好きの二人！
サンショウウオを探して冒険と、そして、発見を!!

発表がとても楽しかった。メモを取るのも楽しかった。

自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ　**兵庫県**

『猪名川・藻川を食べつくせ』

幼児から高校生までの 74人の代表の子どもたちが、
猪名川・藻川の魅力を食を通して伝えてくれました。
“とっても美味しいです。”

玉一アクアリウム　**兵庫県**

『明石川と共に生きる～川は私たちで川り（変わり）、私たちも川で川る（変わる）～』

1年を通して真夏も真冬も1週間に1度以上はずっと調査を続けてきたからこそ気づける変化を
そして、自分たちの成長も！

同志社小学校　　京都府　　A,B チーム

『岩倉川の生きものと自然環境』

学校の横を流れる幅7m全長4kmの岩倉川。両チームとも多彩な資料が目を引きました！
Aチームは、直近2年の生き物調査や飼育観察の結果をもとに、岩倉川の生き物を紹介。多様な生態系を維持し続けるために必要な条件とは、、、。Bチームは、岩倉川の豊かな自然を守り、多様な生き物と人が共にくらす未来のために、私たちが取り組んでいることとは、、、。

奈良学園登美ヶ丘自然再生研究会　　奈良県

『在来種と外来種についてドジョウを中心に』

身近な生き物であるドジョウに外来種が増えていることにびっくり！特徴の違いを絵を使って分かりやすく解説。

認定 NPO 法人びわこ豊穣の郷　　滋賀県

『ホタルを守ろうプロジェクト』 ＆
『世界湖沼会議inオーストラリア』

グローバルに活躍されている『目田レンジャー』が、目田川の生き物を守る川づくりの紹介です。

山内エコクラブ　　滋賀県

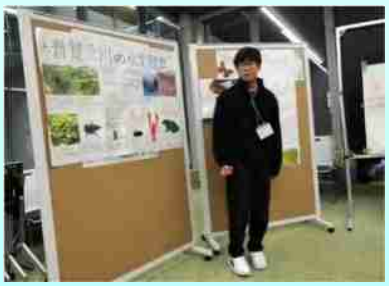
『野洲川エコスクール』

野洲川の上流には、アカハライモリやシマドジョウ、スナヤツメといった希少種が生息しています。一方、中流、下流のプラスチック問題で、万博でも発表したアンブレラチャームへの再生の活動紹介も！

NPO 法人やましろ里山の会　　京都府

『京田辺市のコムラサキ』&『普賢寺川の水生昆虫』

〇コムラサキが水辺で育ち、生きていることにびっくり！綺麗な標本も見せてくれました。
〇無農薬農業などよい地域環境を流れる普賢寺川は多様性の宝庫です。



グループ別交流会

グループB

グループC

グループD

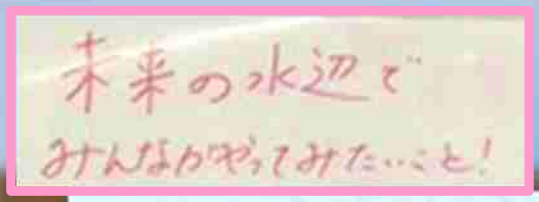
グループ別交流会：テーマ①
体験プログラムで思ったこと・感じたこと

グループ別交流会：テーマ②
未来の水辺で、　みんながやってみたいこと

学生のみなさんが、子どもたちの意見と
輝きを引き出してくれました⭐

グループA

全体交流会



「未来の水辺でやってみたいこと」
のために、みんなは
これからどんなことをする？

全体ファシリテーター　安井航太さんより

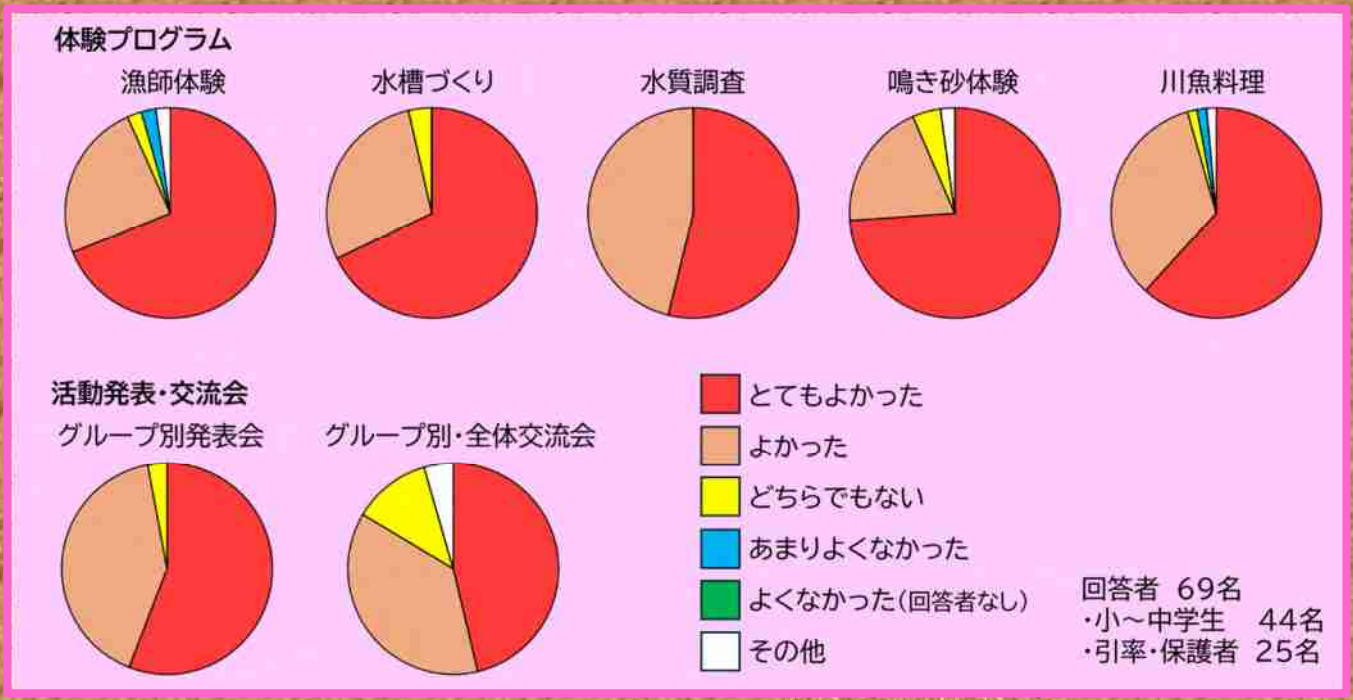
今ある水辺を未来へつなげるためにみんなにして欲しいこと

⭐グループ別交流会や全体交流会で考えたり、話しあったことをみんなそれぞれの団体での活動の中で少しでも良いから意識して下さい。

⭐今日考えたこと、話したことを来られなかったお友達やお母さんやお父さんと話して欲しいです！そうやって自分だけじゃなくて周りに水辺のことを考える人のつながりを広げていってください。

アンケート結果

アンケートのご協力ありがとうございました。
多くの交流や経験が出来ましたというご意見をいただき、この会がみなさまの活動の中の1ページになったことを嬉しく思います。一方で、こちらの準備不足で発表時の隣の声の干渉や空調など十分な交流環境を提供できず申し訳ありませんでした。今後の改善につなげていきたいと思います。



すごく楽しくて、良い経験ができました。

同じような活動をしている仲間たちと交流できてよかった。

大勢の中で発表するのはあまりなかったけど発表してみるとスッキリしました。

初めての交流会だったけど、勉強になり良かった。来年も来ます。楽しかった。

初めて参加して話し合いもうまくいった。発表もしっかりとできたからよかったです。

毎年楽しみにしている交流会、今年も楽しかったです！
来年は受験で参加できないので、その分も楽しめて面白かったです。

体験中はフツーの子供たちだったのに、発表になると自分たちの活動や質疑応答がしっかりできていて、普段から外で活動している子供たちのポテンシャルの高さを感じました。

活動発表会は、時間も人数もちょうどよかったが、残念ながらもう1グループの発表やスタッフのインカムの音が重なり、声の聞き取りにくいところがありました。

子供の意見を問う機会が多く、良い経験になったと思う。ありがとうございました。

学生さんの活躍がとても良かったです。声掛けも優しく、子どもたちもうれしそうでした。あいにくの雨でしたが、コンパクトに開催できて、子どもたちも飽きずに参加できたと思います。

閉会式

今日の出会いを大切に！

閉会挨拶
京都委員　北野　大輔

あいにくの雨で体験プログラムを屋内で行うことになりましたが、それを忘れてしまうくらい、皆さんの楽しそうな笑顔が印象的でした。交流会のテーマは「つながり」です。将来、皆さんが大人になったときに、いろんな形で水辺に関わり続けることができると思います。どういう形でもいいので、水辺とつながり、この交流会に参加して体験したこと、話し合ったこと思い出してくれると嬉しいです。

次回開催のお知らせ

奈良委員
田中　実知世

次回開催は奈良県！

次回の近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良は、
令和９年１月 23 日(土)奈良市にある奈良県コンベンションセンターで開催を予定しています。
県内に海や湖などの川の出口がない奈良県ですが、川の源流はたくさんあり、中には源流の村として下流に責任をもって美しい水を供給する、と宣言している地域もあります。
自分の水辺はだれかの上流で、だれかの下流。みんなが水辺を大切に思うから、流域が守られるのだと思います。
みんなが大好きな水辺を発表し、意見交換しましょう。
楽しい水辺体験も待っています。
来年度、水辺の仲間と奈良で会えることを楽しみにしていてください。

つながりのツールとしてホームページを今年つくりました！
ご活用下さい。
https://kinkikodomomizube.wixsite.com/mizube2025

Instagram
学生さんが当日の様子を撮影&アップ！
ちょいバズりも！！

@KODOMOKORYUKAI